

令和元年6月 全国キャリア教育・就職ガイダンス 説明資料

# 農業を職業選択肢のひとつに！

令和元年6月

農林水産省

# 我が国農業界の「超変革」とは

<テーマ>

<キーワード>

<キーファクター>

I

**「技術」**  
で稼ぐ農業へ

**イノベーション**

ICT・IoT  
AI

# 【I:技術で稼ぐ イノベーション】



# 我が国農業界の「超変革」とは

<テーマ>

<キーワード>

<キーファクター>

I

**「技術」**  
で稼ぐ農業へ

**イノベーション**

ICT・IoT  
AI

II

**「海外」**  
で稼ぐ農業へ

**グローバル**

輸出  
GI

# 訪日外国人旅行者の「食」への関心

- 2013年の「和食」のユネスコ無形文化遺産登録を契機として、国内外で「和食」に対する関心が高まっている。
- 訪日外国人観光客は、地方の郷土料理を食べることを楽しみにしているとともに、好きな外国料理でも「日本料理」が1位に挙げられている。

## 日本食ブーム

- 訪日外国人観光客が「訪日前に期待していたこと」  
(全国籍・地域、複数回答)

**1位「日本食を食べること」(69.7%)**

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」平成27年度年次報告

- 外国人が好きな外国料理

**1位「日本料理」(66.3%)**

出典：日本貿易振興機構調査(2014年3月)

※複数回答可、回答者数に対する回答個数の割合  
(自国の料理は選択肢から除外)

- 地方の多様な食への期待

訪日外国人が日本の地方旅行でしたいことは、

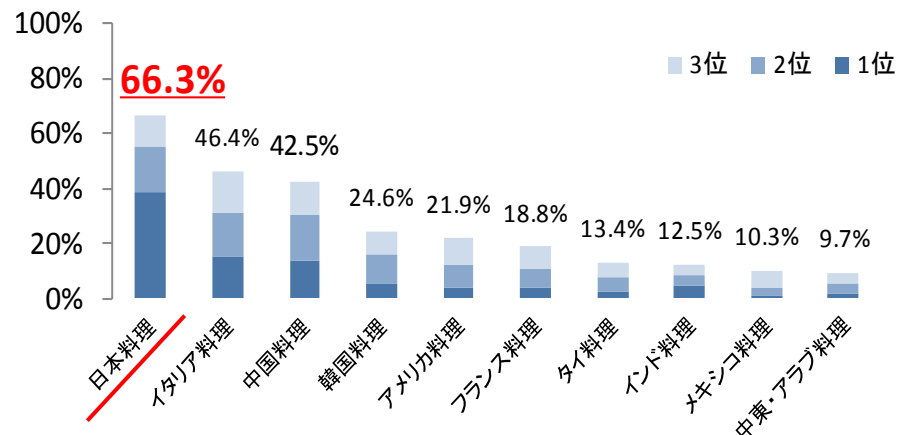
**「温泉・自然観光地訪問」(57%)に次いで、**

**「郷土料理を食べる」(52%)**

出典：株式会社日本政策投資銀行・公益財団法人日本交通公社  
アジア8地域・訪日外国人旅行者の意向調査(平成27年度版)

## 好きな外国料理の1位は「日本料理」

### 好きな外国料理(6カ国全体結果)



出典：ジェトロ「日本食品に対する海外消費者意識アンケート調査」(2014年3月)を基に作成

出典：日本貿易振興機構調査(2014年3月)※複数回答可、回答者数に対する回答個数の割合。(自国の料理は選択肢から除外)

# 我が国農業界の「超変革」とは

<テーマ>

<キーワード>

<キーファクター>

I

**「技術」**  
で稼ぐ農業へ

**イノベーション**

ICT・IoT  
AI

II

**「海外」**  
で稼ぐ農業へ

**グローバル**

輸出  
GI

III

**「つながり」**  
で稼ぐ農業へ

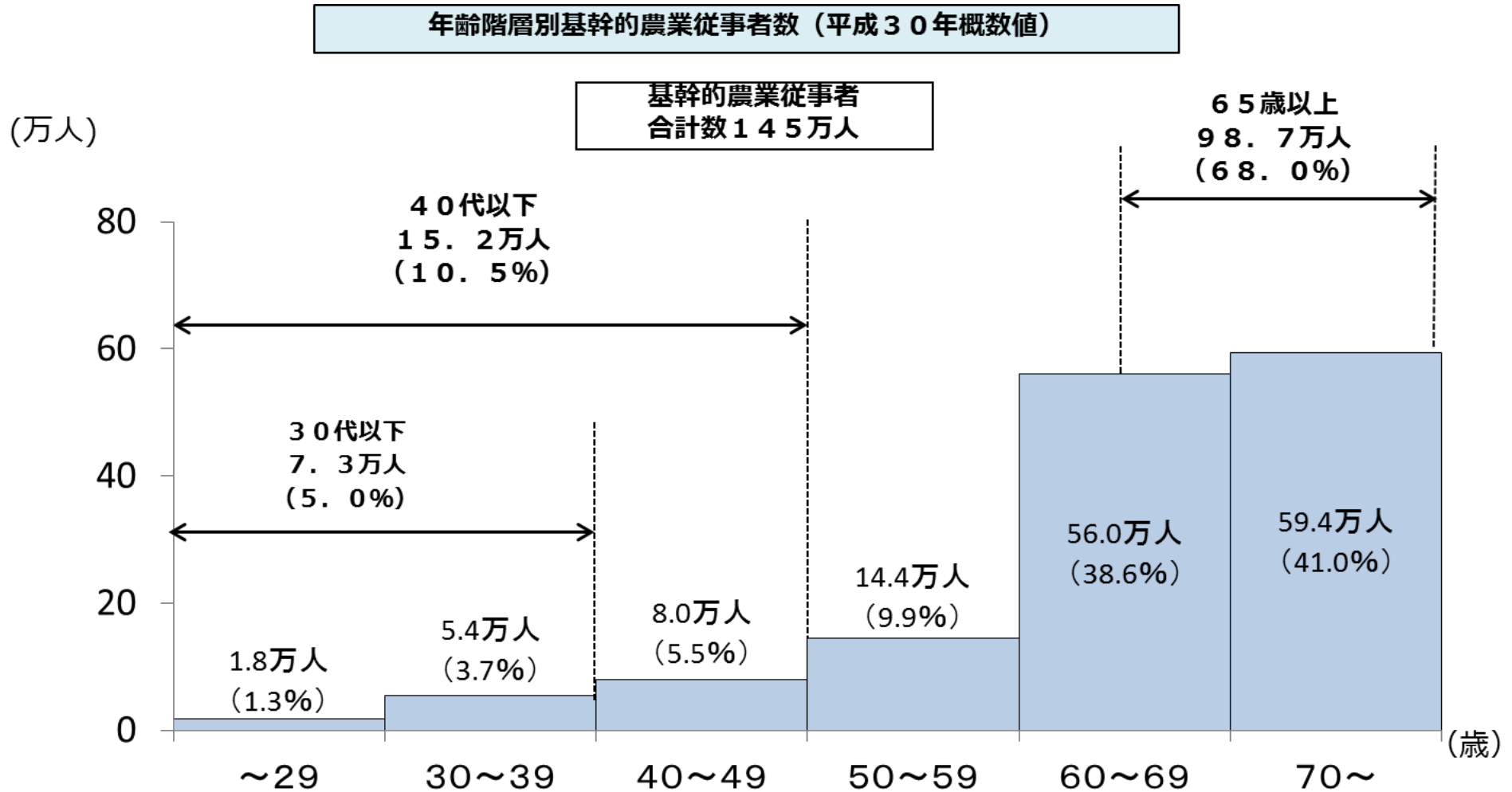
**バリューチェーン**

6次化  
ブランド化

**技術の発展、グローバル化、多様化により、  
農業界には今、様々な人材が必要。**

# 我が国の農業従事者の年齢構成

- 我が国の基幹的農業従事者の**年齢構成は著しくアンバランス**。
- 持続可能な力強い農業を実現するためには**若年層の新規就農増**が期待される。



資料：農林水産省「平成30年農業構造動態調査（平成30年2月1日現在）」

定義：「基幹的農業従事者」とは、農業就業人口のうち、普段仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

# 新規就農スタイル（3パターン）

## 1. 新規自営就農

実家を継ぐ

農家子弟が親の農業経営に参加する又は継承する

- 親のサポートを受けて（手伝いをして）、栽培技術や経営ノウハウを学べる。
- 農地や施設・機械を譲り受けることで、初期投資額を抑えられる。
- 新部門を立ち上げて経営を発展させる道も。

## 2. 新規参入

起業する

非農家子弟等が経営主として農業を開始する

- 自分がやりたい農業経営を目指す就農スタイル。
- 技術の習得から資金の準備、農地や設備の確保等に初期投資が必要。

## 3. 雇用就農 ⇒ 昨今特に注目されている就農スタイル

就職する

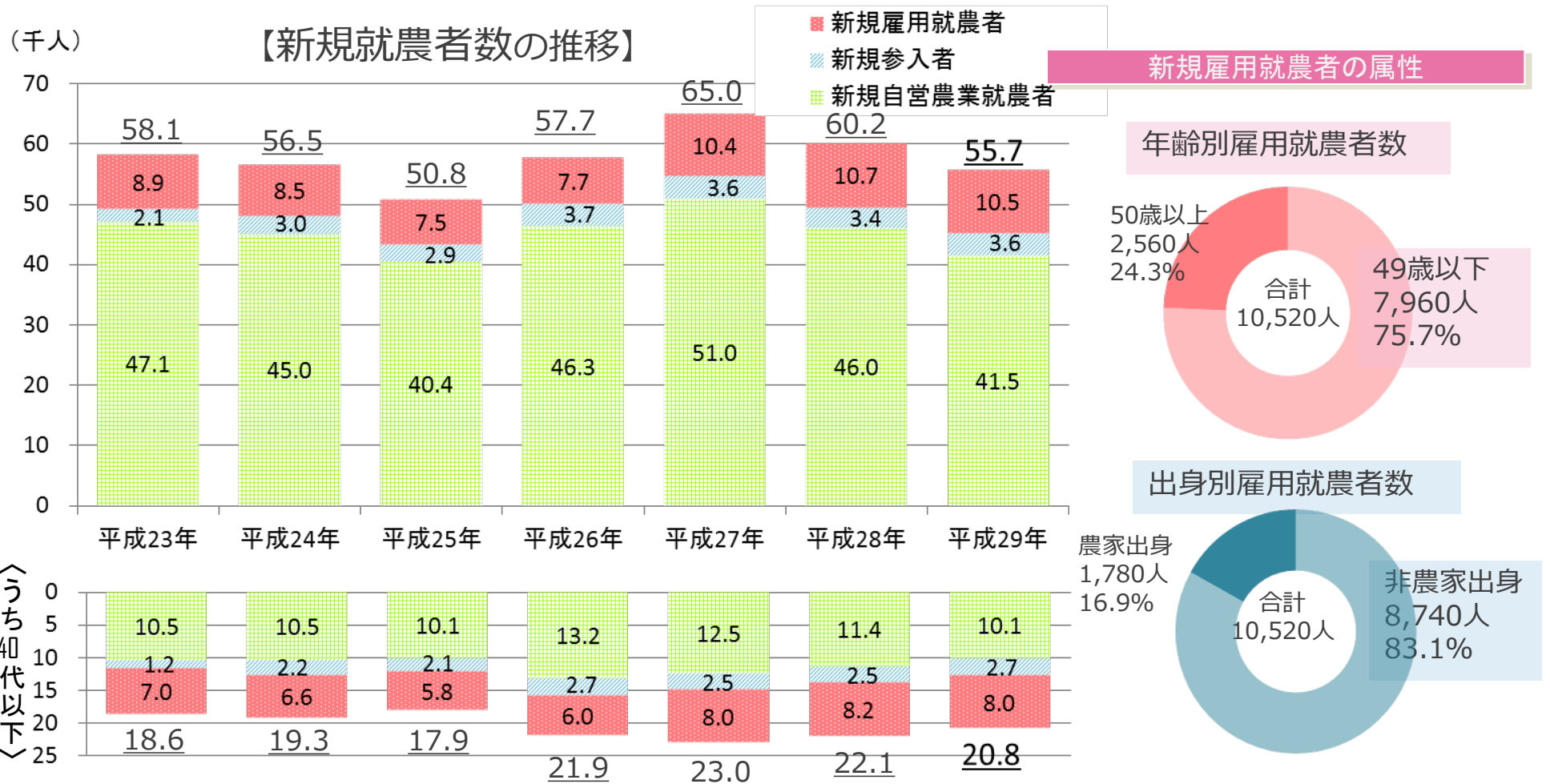
農業法人等に就職する

- 農業法人で従業員として働く就農スタイル。
- 毎月決まった給与をもらうという点でサラリーマンと同様な勤務形態。
- 働きながらスキルを身につけ、将来的に独立するルートもあり。



# 新規就農者の現状

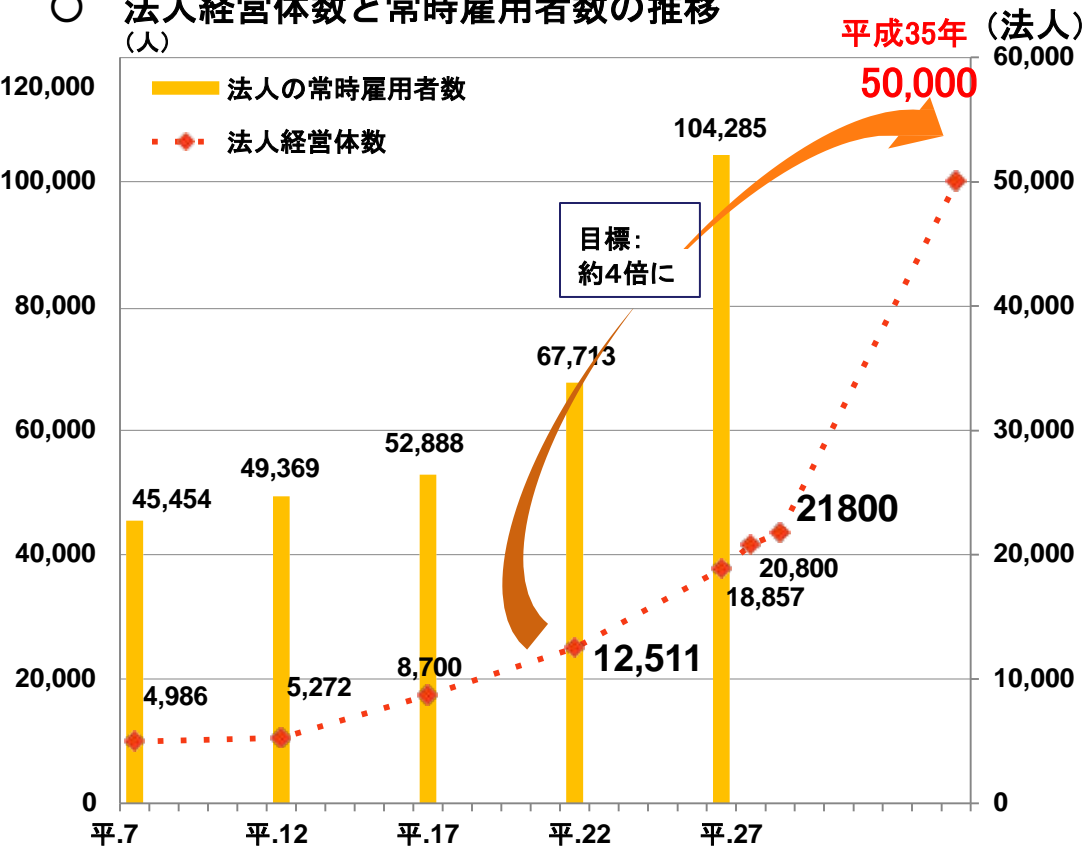
- 平成29年度新規就農者は、およそ6万人。今後の担い手として期待される40代以下の若年層は2万人前後で推移している。
- 新規雇用就農者は、近年8千人前後で推移してきたが、平成27年からは1万人超え。年齢別では、40代以下が約76%、出身別では、非農家出身者が約83%。



# 法人経営体と常時雇用者数の動向

- 法人経営体数は、増加しており、常時雇用者数も着実に増えている。
- 一般法人の農業参入は、平成21年の農地法改正以降、年間300社前後の増加。

○ 法人経営体数と常時雇用者数の推移

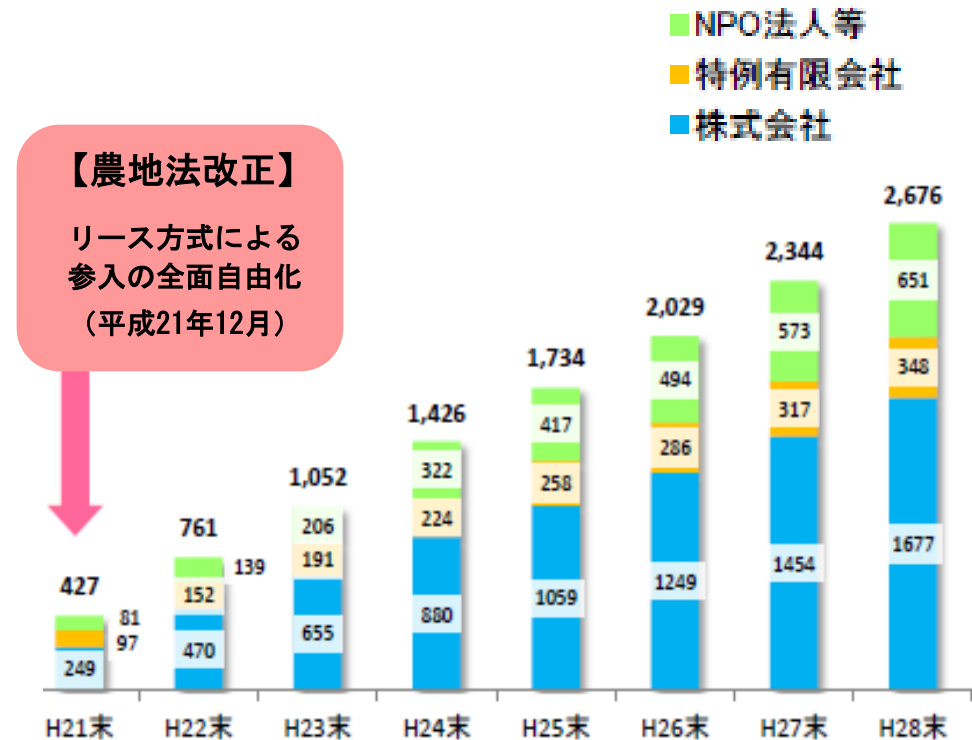


注1: 法人経営体は、農家以外の農業事業体のうち販売目的のもので、株式会社、有限会社等のほか、農事組合法人、農協、特例民法法人等を含む。

注2: 販売農家のうち法人化したもの(いわゆる一戸一法人)は、経営体数に含まない。

【出典】：農林水産省「農林業センサス」、「農業構造動態調査」、「耕地及び作付面積統計」により作成。

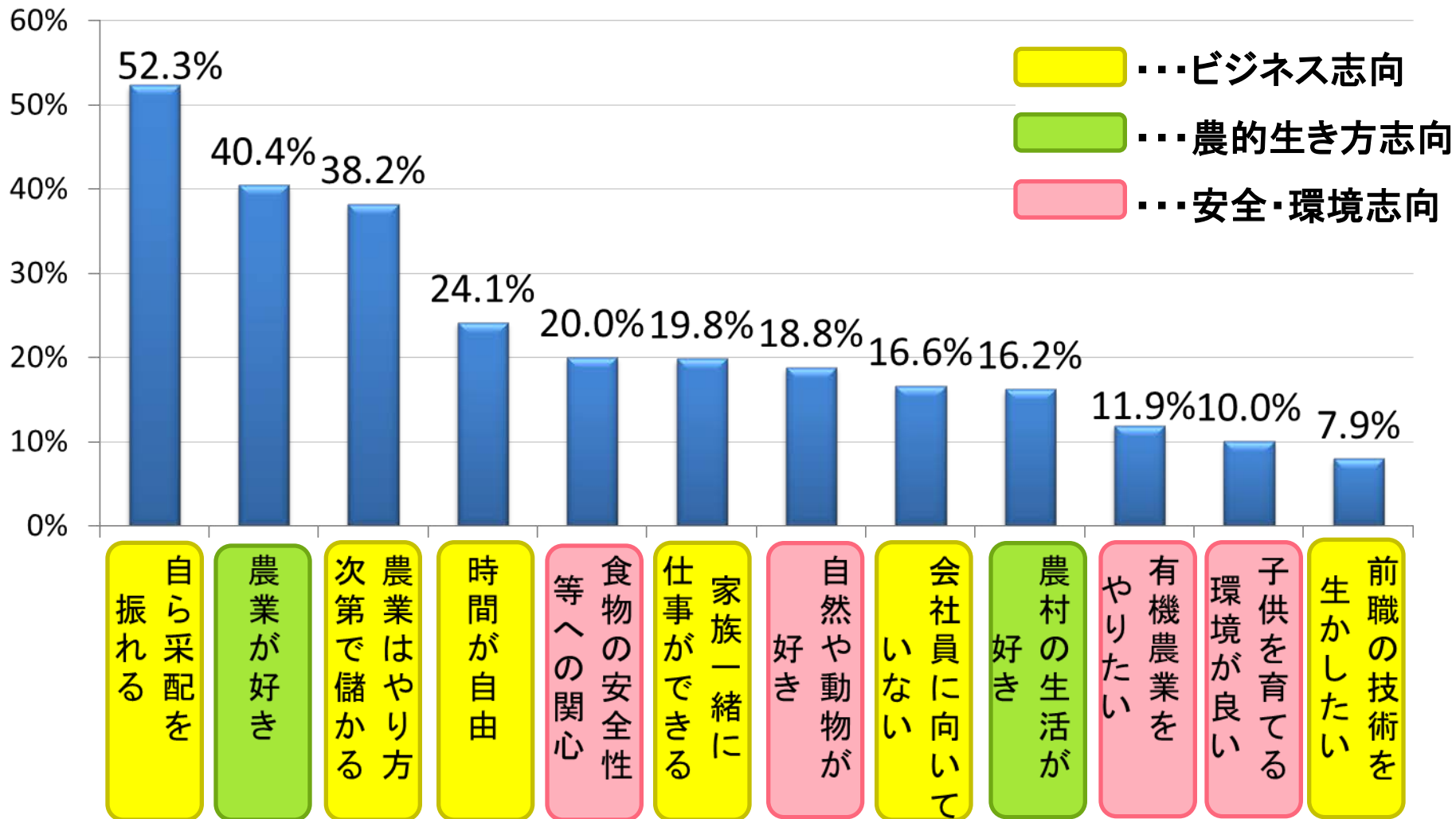
○ 一般法人の農業参入推移



資料：農林水産省経営局調べ（平成28年12月末現在）

# 新規就農の魅力（就農の理由）

- ・「自ら採配を振れる」といった**ビジネスとしての魅力**を感じている者が約半数。
- ・「農業、農村の生活が好き」など、**農的な生き方に魅力**を感じている者も多い。



資料：新規就農者（新規参入者）の就農実態に関する調査結果（平成29年3月全国新規就農相談センター）

# 新規就農・経営継承のための対策（全体像）

	就農準備 (高校卒業後を支援)	就農開始		経営確立
		法人正職員としての就農	独立・自営就農	
所得の確保	<p><b>農業次世代人材投資事業（準備型）</b></p> <p>研修期間中、年間150万円を最長2年間交付（<u>就農予定時の年齢が50歳未満</u>）</p>	<p><b>法人側に対する農の雇用事業</b></p> <p>農業法人に就職した青年（50歳未満）に対する研修経費として年間最大120万円を最長2年間助成</p>	<p><b>農業次世代人材投資事業（経営開始型）</b></p> <p>50歳未満で独立して自営する認定新規就農者に対して、<u>年間最大150万円を最長5年間交付</u></p>	<p>農業法人等の次世代経営者の育成（農の雇用事業）</p> <p>法人等の職員（55歳未満）を次世代経営者として育成するための派遣研修経費として、<u>月最大10万円を最長2年間助成</u></p>
技術・経営力の習得	<p><b>農業経営者育成教育のレベルアップ</b></p> <p>就農希望者等に、高度な農業経営者教育を行う機関等に対して支援</p>	<p>雇用者の法人独立に向けた研修経費として年間最大120万円を最長4年間助成（3年目以降は最大60万円）</p>		<p><b>農業経営塾の創出</b></p>
就農定着に向けた諸課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の就農意欲喚起活動</li> <li>・短期就農体験</li> <li>・就農相談会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者間の交流会</li> <li>・サポート体制の強化</li> </ul>		
機械・施設の導入			<p>青年等就農資金（無利子）</p>	<p>スーパーL資金</p>
			<p>経営体育成支援事業</p>	

# 就農に向けた情報収集・体験機会の提供

## 体験してみる

### 農業インターンシップ（受付中）

□ 農業法人で就業体験をする制度。経営作目ごとに様々な作業を体験可能

- 受入先 : 全国の農業法人（約300社）
- 期間 : 2日から6週間以内で通年受入れ可能
- 費用 : 参加費は無料で、食費・宿泊費は受入先が負担  
※ただし、受入法人までの交通費は自己負担
- 対象者 : 学生（高校生以上）及び社会人で農業の経験は問わない



↑全国新規就農相談センターHP

お問い合わせ先：全国農業会議所(全国新規就農相談センター) TEL:03-6910-1126 <http://www.nca.or.jp/Be-farmer/index.php>

## 情報を収集する

### 就農相談窓口「新規就農相談センター」の設置

□ 全国及び各都道府県に設置し、就農希望者への情報提供、個別の就農相談を実施。

### 就農相談会（新・農業人フェア）

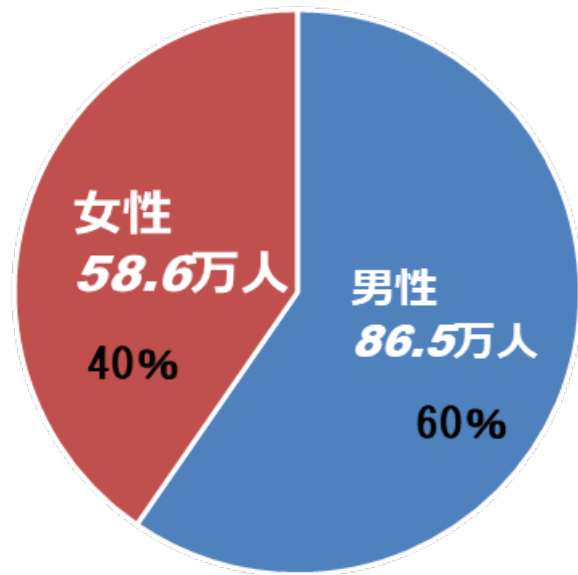
□ 地方自治体や就農希望者を募集する農業法人がブースを出展し、自治体の就農支援策の紹介、企業説明、新規就農に関するセミナー等を行う就農相談会を、東京（8回）・大阪（2回）で開催



# 農業界における女性の役割の変化

- 基幹的農業従事者145万人の内、女性は59万人で、その割合は約4割。
- 女性が経営に関与している経営は、関与していない経営と比べて収益力が向上する傾向。

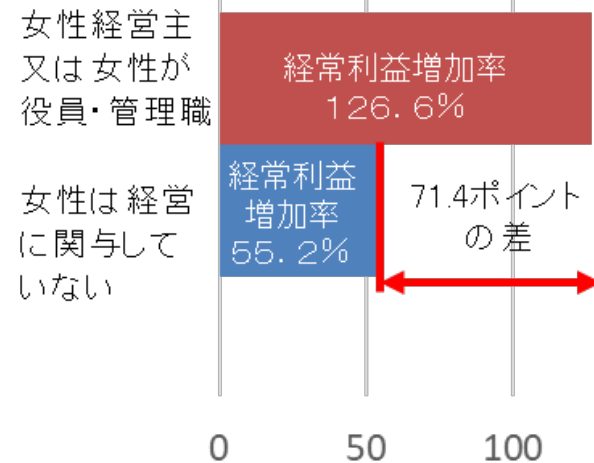
## 基幹的農業従事者(男女比)



(資料)

農林水産省「農業構造動態調査」(H30)による。  
注:「基幹的農業従事者」とは、農業就業人口のうち、普段仕事として主に農業に従事している者をいう。

## 女性の経営への関与別 経常利益増加率(直近3年間)



(資料)

1. 株式会社日本政策金融公庫「平成28年上半期農業景況調査」(平成28年9月)による。
2. 調査対象は、日本政策金融公庫のスーパーL資金又は農業改良資金の融資先。



- 女性農業者の知恵やアイデアを様々な民間企業の技術、ノウハウ、アイデア等と結びつけ、新たな商品やサービス、情報を社会に広く発信する取組。
- 当プロジェクトを通して、社会全体での女性農業者の存在感を高め、併せて職業としての農業を選択する若手女性の増加を図っていく。

## 個別プロジェクトの推進

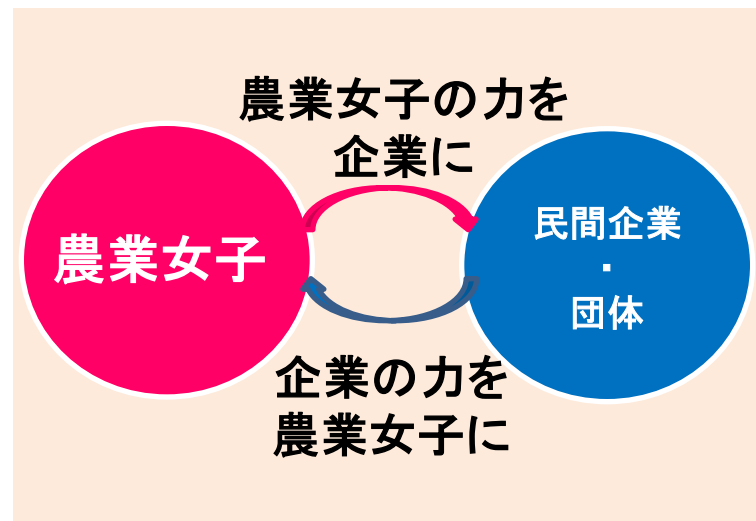
企業と女性農業者が協同で新たな商品やサービス等を開発。  
農業女子の持つ3つのチカラ「生産力」「知恵力」「市場力」を発揮する。

## プロジェクトの広報活動

個別プロジェクトの進捗状況やイベントの開催報告等、プロジェクトの活動に関する広報発信等

DATA(平成31年1月現在)

○農業女子:724名 ○参画企業:34企業 ○教育機関:6校



広く社会に発信

『農業女子』の存在感を高める、企業連携によるビジネス発展、生産物の高付加価値化

# 農業女子プロジェクト参画企業・教育機関



農業女子PJ



アイアグリ(株)

農家のみなさんに  
届け！PJ Stage2

井関農機(株)

夢ある“農業女子”  
応援PJ

株)エイチ・アイ・エス

農業女子PJ  
地域のためのプログラム  
～SDGsの視点から～

(株)NTTドコモ

農業ICTをもっと身近  
に感じてもらう！

(株)温泉道場

農女プロデュース替わり風呂PJ、  
梅ラボ梅干し限定販売PJ

<チーム“はぐくみ”>

桜美林大学

農業女子という  
未来型ライフスタイル

カネコ総業(株)

明るい農業応援！  
Farm tools PJ

キューピー(株)

あいち みんなのサラダ

(株)コーセー

農業女子Beauty  
Vol.4 PJ

コンビ(株)  
コンビウィズ(株)

「おいしい！」を未来まで  
つなげようPJ

(株)サカタのタネ

ハッピーベジタブルで「新野菜」  
の需要創造PJ

蒲田女子高等学校

農業からはばたけ！  
チャレンジ&応援PJ

(株)しまむら

農業女子のまいにち服

シャープ(株)

農業女子の  
旬の野菜を盛り上げよう

城北信用金庫

「作る」から「創る」へ！  
ビジネス&ライフ応援PJ

(株)精工

女子力でブランド力と  
経営力を向上！

象印マホービン(株)

農業女子 in ライスマイルプ  
プロジェクトごはん会議

近畿大学

近大流農業女子育成PJ

ダイハツ工業(株)

ダイハツ×農業女子マルシェ  
全国展開！PJ

(株)タニタ

ご当地タニタごはんコンテスト  
を通じて農業女子と  
健康まちおこし！PJ

大日本印刷(株)

農業女子の未来の  
あたりまえをつくるPJ

(株)近正

農作業を快適に！！  
農業女子サポートPJ

(株)東邦

汚れも悩みもスッキリ！  
農業をもっと楽しく！PJ

産業能率大学

農(みのり)の絆PJ  
2018

(株)東洋ハウジング

農業女子とかがえる  
住まいのミライPJ

(株)東和コーポレーション

はたらく笑顔  
総生産向上プロジェクト

豊島(株)

農業女子的  
ファッション改革PJ

(株)バンダイナムコ  
アミューズメント

『農業×エンター  
テイメント』創出PJ

日本農薬(株)

明日の農業女子を  
考える日農PJ

東京家政大学

ワークライフバランス  
in 農業女子PJ

フマキラー(株)

「素敵・未来・ガーデン」  
PJ

(株)丸山製作所

“きらめき農業”  
応援PJ

(株)三越伊勢丹HD

想いを‘形にする・  
伝える・届ける’PJ

(株)桃谷順天館

農業女子の美肌を  
応援する共創PJ

(株)モンベル

フィールドウェア  
開発PJ

東京農業大学

新たなワークスタイルを  
提案するkawaii  
農業女子育成PJ

ヤマト運輸(株)

農業女子×クロネコヤマトの  
「物流支援を考える」PJ

楽天(株)

「農業女子×ラクマ  
農産物取引拡大」PJ

(株)レンタルのニッケン

農業女子的  
労働環境改善PJ

(株)ワコール

すごい下着発明部  
農学科PJ vol.2





# 企業プロジェクトの主な成果



## ダイハツ工業

女性目線の軽トラックの開発 [H26.9]

- ・カラフルな全8色のボディカラー
- ・UVカットグラス採用。座席の高さを下げて乗降しやすく



## ワコール

農作業快適インナー4種を発表 [H28.11]

- ・汗をかいてもむれずに乾きやすい、農作業の動きに対応した下着を開発



## 丸山製作所

農業女子の声から生まれた噴霧器『きりり』を発表 [H29.11]

- ・背当て背負いバンドを背負いやすく改良
- ・希釈倍率表を添付し薬剤の混合量がすぐわかる



## 井関農機

農業女子草刈機『プチもあ』の開発 [H29.12]

- ・動画で使用方法等を確認できるQRコードを添付
- ・サイドクラッチレバーやグリップを操作しやすく改良



## モンベル

フィールドレインウェアの開発 [H30.6]

- ・農業女子の意見を取り入れた、フィールドウェア
- ・シリーズ初の女性用レインウェアを発売。



## カネコ総業

【Lacuno】シリーズ完成 [H30.11]

- ・手になじみ、作業しやすく疲れにくいらくらくグリップシリーズ「Lacuno」（鎌・鍬・レーキ）の開発。



# 今注目する農業法人紹介「ドロップファーム」



設立：平成25年  
所在：茨城県水戸市  
代表取締役：三浦綾佳  
従業員数：8名（パート含む）  
事業内容：  
トマト栽培、トマト加工品生産、  
販売

## 【注目するポイント】

- ・ 経営者は“非農家”のファッション&広告業界出身→出産を機に「農業」に興味
- ・ トマト栽培ハウス内を「見える化」→高品質の維持と安定供給
- ・ 子供がいても働ける農業（残業なし、フレックスタイム制など）→従業員は全員女性
- ・ 前職で培った商品ブランディングノウハウ→販売先に合わせた商品提案



**社長の描く将来：女性目線で新しい農業をつくる**

さらに詳しいご相談・ご質問等、  
ぜひ、農林水産省ブースまでお越しください！

インターンシップ等の相談窓口となる  
全国新規就農相談センター様と共にお待ちしております！

ホームページ・facebookでも情報発信中！

農林水産省HP「農業を始めたい皆さんを応援します！」  
[http://www.maff.go.jp/j/new\\_farmer/index.html](http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/index.html)

農林水産省メールマガジン「青年新規就農者ネットワーク(一農ネット)」  
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/reg.html>

農林水産省経営局公式facebookページ「農業経営者新時代ネットワーク」  
<https://www.facebook.com/nogyokeiei>



**農林水産省**